

議員説明会 会議録

会 議 の 名 称	第3次伊勢崎市総合計画策定の進捗状況に係る説明会
開 催 日 時	令和6年8月23日（金） 午後1時30分～午後3時15分
開 催 場 所	議会棟第1～第3委員会室
出 席 者	議員：27名 市側出席者： 臂市長、下城副市長、藤原副市長、 三好教育長、小林病院事業管理者、 新井総務部長、星野企画部長、丸橋財政部長、 細井市民部長、深澤環境部長、中野健康推進部副部長、 石橋福祉こども部長、清水長寿社会部長、 定形産業経済部長、田中農政部長、倉林建設部副部長、 山田都市計画部長、高木公営事業部長、 柳澤上下水道局長、矢内消防長、小此木経営企画部長、 大森会計管理者、下城監査委員事務局長、小林教育部長、 川端企画部副部長、倉上企画調整課長
会 議 の 議 題	第3次伊勢崎市総合計画策定の進捗状況について
会 議 資 料 の 内 容	【資料1】関係団体等ヒアリング報告書 【資料2】序論骨子（案）について 【資料3－1】地区別計画（素案） 【資料3－2】地区別計画（素案）＜地区の特性等から導く地域づくりの方向性・振興策＞ 【資料4】重点プロジェクト（素案） 【資料5】重点施策（素案） 【資料6】人口ビジョン骨子（案）について
会議における 議事の経過及び 発言の要旨	○開会 下城副市長 ○説明 臂市長説明 ○質疑 《資料1 関係団体等ヒアリング報告書》 質疑なし 《資料2 序論骨子（案）について》 質疑なし 《資料3－1 地区別計画（素案）

《資料３－２地区別計画（素案）＜地区の特性等から導く地域づくりの方向性・振興策＞》

【議員】

各地区のページに市民アンケートでの住みよさについて記載があるが、赤堀地区のみ「住みよい」の割合が8.2%と極端に低い。どのような対応をとっていくのか。また、「住みよい」の低さは分析が必要ではないか。

➤ 【企画部長】

地区別計画に記載の方向性・振興策に取り組んでいくことで、「住みよい」と回答する割合は増加していくものと考えている。「住みよい」の低さの原因は分析したい。

【議員】

資料３－２に市民アンケートにおける住みにくい理由の上位３項目が地区ごとに記載されており、どの地区もトップは「バスなどの公共交通機関が不便」であるが、公共交通に関する記載が地区別計画には少ないように感じる。

➤ 【都市計画部長】

公共交通に関する取組は、方向性・振興策の「安全でゆとりある居住環境の形成」などに反映できると考える。検討させていただきたい。

【議員】

合併から20年が経過しており、全市一体の方向性を示すべきではないか。資料３－１の地区別計画では、合併以前と同じ地域性が残ってしまうのではないか。

➤ 【企画部長】

地区別計画は、各地区が特色を生かして発展し相互に連携する「地域間の共生」を推進し、４地区が一体となった魅力的な「伊勢崎市」を目指すためのものとして位置付けるものである。

【議員】

伊勢崎地区では、中心市街地のにぎわいの創出についての記載があるが、イベント等の実施のみでなく、区画整理後に住む人が増えるのかという視点もあり、にぎわい創出のみではなく、暮らしやすいまちも目指して欲しい。

➤ 【都市計画部長】

中心市街地の形成については、資料５の重点施策「4-2 魅力ある市街地の形成」において重点事業として位置づけ

	ている。 【議員】 境地区には古い住宅や狭い道路が多く、高齢化も進んでおり、また、境町駅周辺のこれからのまちづくりの進め方が課題である。 ➤ 【都市計画部長】 境地区の生活道路については、狭あい道路の解消に向けて様々な角度から検討を進めていかなければならないが、具体的な計画は今のところない状況である。 ➤ 【産業経済部長】 境地区のにぎわい創出については、にぎわい再生補助金などを活用いただき、ソフト面では徐々に盛り上がってきている段階である。創業する方への補助なども併せて、盛り上げていきたい。 【議員】 境地区の島村などでは、浸水想定深が深く、水害の影響が広範囲に及ぶ。避難時の誘導など、ソフト面の整備が必要ではないか。 ➤ 【総務部長】 防災についてのソフト面の整備は、地域住民一人ひとりが我が事と捉え、避難場所の確認や情報収集に努めていただくことが重要と考えている。各地区に防災アドバイザーの方に入っていただく形で、地域防災力の向上を図っており、重点施策において記載している。 【議員】 地区別計画は合併前の市町村単位で分けられているが、他の計画では、異なる分け方をしているものもある。分け方の見直しも必要になって来るのではないか。また、市全体の共通課題と、個々の課題というのは整理してもいいのではないか。 市民全体の共通の思いを醸成できるような流れが、計画にちりばめられているとよいのではないか。 ➤ 【企画部長】 検討させていただきたい。 ≪資料4 重点プロジェクト（素案）≫ 【議員】
--	--

	「D X推進プロジェクト」の「デジタル基盤の整備」における指標、「情報システムのクラウド化率」について、現状値37%であるが、目標値42%というのは低いように感じる。算出の根拠を教えてください。 ➤ 【企画部長】 現在、310の情報システムがあり、令和5年度では115のシステムがクラウド化されている。年1%増を見込み、目標値を設定している。 ➤ 【議員】 算出根拠については理解できたが、目標値42%で、プロジェクト指標の「市民が「伊勢崎市はデジタル化が進んでいる」と感じる割合」の目標値50%を達成できるのか。 ➤ 【企画部長】 「市民が「伊勢崎市はデジタル化が進んでいる」と感じる割合」についてのアンケートは実施しておらず、現状について把握はできていない。 50%という目標については令和4年度に実施された群馬県民幸福度に関するアンケートにおける県全体の結果が46.6%であり、この数値を超える50%を設定した。 「市民が「伊勢崎市はデジタル化が進んでいる」と感じる割合」を増加させるために、重点施策「7-4効率的かつ安定的な行財政経営の推進」の重点事業である「行政D X推進事業」や「情報システム開発事業」などを推進していくことで、目標値50%を達成できるように取り組みたい。 【議員】 「3重点施策との対応」のページにおいて、「産業・観光・文化政策」の重点施策「3-5文化活動の継承と振興」の欄が空欄になっているが、全てのプロジェクトに関係しているようにも感じる。 ➤ 【企画部長】 頂いた御意見を踏まえて検討したい。 ➤ 【議員】 伊勢崎市における文化政策は、既存の行政機構の中で位置付けられているため、目的と手段が逆転してしまっているような印象を受ける。文化政策の位置付けについては、そういった点も含めて検討していただきたい。 【議員】 「暮らしの安心実現プロジェクト」の「都市環境・交通網・インフラの整備」の中で「コミュニティバス利用者数」を目標値として掲げているが、タクシー活用事業に関する指標を設定してはどうか。
--	--

	➤ 【都市計画部長】 タクシー活用事業に関する指標については、P 5にある「すべての市民が元気に活躍できる環境づくり」の中で「運転免許証自主返納者数」を設定している。 タクシー活用事業を利用していただくことで、安心して運転免許証を返納していただけるように取り組んでいきたい。 【議員】 地区防災計画の策定は、市が支援していかなければ難しいと思う。地域コミュニティは多くある中で、「自主防災組織による地区防災計画の策定数」の目標値33件は少なく感じる。 ➤ 【総務部長】 各地区で防災計画を策定していただきたいということで、昨年度、地区防災計画の策定の手引きを配布したところである。 既に策定されている1件の計画を区長会などで共有することでイメージを掴んでもらい、それぞれの地区でどのような計画が策定できるのかを検討していただきたいと考えている。 また、県の地域防災アドバイザーの情報を各地区の区長と共有するなどして、これから策定を検討していただくという段階である。これから各地域で策定について検討を始めていただくという状況を踏まえ、3つの行政区が策定するものとして、目標値を33件として設定した。 【議員】 「少子高齢化対策プロジェクト」の「すべての市民が元気に活躍できる環境づくり」に関連する重点施策「2-2地域医療体制の充実」の指標が、5年間で変動しないものが設定されている。もっと設定すべき指標があるのではないかな。 また、市民から要望のある小児医療について、24時間受けられるような体制の整備に関しては、全く動きがないような施策となっている。 ➤ 【健康推進部副部長】 成果指標の「休日夜間急患センターの開設日数」における「365日」という目標値については、救急の体制を維持することを目標として設定したものである。 小児医療体制の充実については、県や玉村町及び佐波医
--	---

	師会と連携して取り組んでいきたい。 ➤ 【経営企画部長】 市民病院の経営強化プランでは、市民病院としての目標を様々掲げているが、「地域医療体制の充実」として考えた際に、適切なものを目標値として設定した。 【議員】 「少子高齢化対策プロジェクト」の「すべての市民が元気に活躍できる環境づくり」に関する指標である「運転免許証自主返納者数」については、高齢者の母数が増加していくため、返納者数も自然と増えるのではないかと。これを成果指標として設定して返納者が増加した場合に、市の取組により増えたと言えるのか疑問である。 また、地区別のアンケート結果において、全ての地区で上位になっている公共交通機関が不便であるということに対してどう対応するのか、もっと具体的に記載する必要があるのではないか。 ➤ 【都市計画部長】 自主返納者数の過去5年間の平均が672人であり、ここから20%がタクシー活用事業により増加すると見込み、目標値を設定した。 公共交通機関の充実については、重点施策「4-4利便性の高い公共交通ネットワークの確立」において具体的な取組を記載している。 ➤ 【議員】 買物や通院等の際に不便がないようにすることが重要である。 ➤ 【都市計画部長】 前回の説明会から、重点事業に「交通対策事業」を追加している。地域公共交通計画の策定や、公共交通ネットワークの充実を図るものとしてこの事業を位置付けた。また、様々な公共交通の形態等についても公共交通会議を通じて検討していきたい。 【議員】 これまで疾病予防に関する指標は、健診の受診率であったが、「少子高齢化対策プロジェクト」の「すべての市民が元気に活躍できる環境づくり」では、「がんの75歳未満年齢調整死亡率」となった。これはがんのみの指標であ
--	---

	り、疾病の早期発見という面では限定的になってしまうのではないかと。 ➤ 【健康推進部副部長】 がんになる方が非常に多いという現状があり、がんの早期発見が重要であると考え指標として設定したものである。 ➤ 【議員】 がんの早期発見であれば、がん検診の受診率を設定するのはどうか。 ➤ 【健康推進部副部長】 がん検診受診率の設定について検討したい。 【議員】 公立幼稚園に関して、新たに施策が設定され位置付けが明確になったが、「子育ての悩みがあったら、幼稚園に相談できると考えている保護者の割合」の算出根拠を教えてください。 ➤ 【教育部長】 毎年2回実施している保護者向けの学校評価アンケートの結果の数値である。相談体制の充実が重要であることからこの指標を設定した。今後は園児のみでなく、プレ幼稚園に参加している子どもの保護者に対しても相談業務を行っていきたいと考えている。 【議員】 「産業活性化プロジェクト」の「プロジェクト指標」である有効求人倍率について、目標値設定の算出根拠を教えてください。 ➤ 【産業経済部長】 人口減少に伴う労働者不足が課題となっている。一方で、DXなどにより省力化も加速し、求人数と求職者数がともに減少していくと考えられている。 こういった背景があり、求人数と求職者数の均衡が保たれている状態である1.00倍を目標値として設定した。 ➤ 【議員】 有効求人倍率が1.00倍を割ったのは、コロナ禍やリーマンショック等、非常に特殊なケースであるが、1.00倍というのはバランスが取れている状態であるのか。 ➤ 【産業経済部長】 御認識のとおり、有効求人倍率が1.00倍を割ったのは非常に特殊なケースである。市としては有効求人倍率1.00倍
--	---

	がバランスの取れた状態であると考え設定したが、適切であるか改めて検討したい。 【議員】 新規就農者について延べ人数にする理由はあるのか。また、新規就農者の定着率を上げるための対応について伺いたい。 ➤ 【農政部長】 新規就農者数については、景気や感染症等の影響により年度ごとの変動が大きいため、目標値は延べ人数で設定したものである。 また、新規就農者が定着するための取組については、新規就農するにあたり、どのような作物を作るのか、経営方針についての内容等を中心とした相談体制の充実に注力している。 【議員】 遊休農地面積の目標値が現状以下となっている理由を教えてください。 ➤ 【農政部長】 総合計画審議会において、遊休農地が増加していく中で、目標値を現状値以下というのはハードルが高いのではないかという指摘をいただいた。しかし、適正な農地利用の課題として遊休農地の増加は避けて通れないため、総合計画に遊休農地面積の目標値を設定した。高いハードルではあるが、強い覚悟で課題に取り組んでいきたい。 また、現在地域計画を策定しており、遊休農地を可視化し、対策を具体的に話し合っている。 今後、担い手となる農業者に対し、市としての支援も含めた遊休農地対策を考えている。 【議員】 「暮らしの安心実現プロジェクト」に関して、群馬県は犯罪遭遇率がワースト上位であり、伊勢崎市は人口に対して犯罪の認知件数が多い。 また、伊勢崎市は住居侵入の件数がワースト2位である。こういった現状が伝わるような文章としてはどうか。 ➤ 【総務部長】 重点施策「5-2防犯力の向上と消費者保護の推進」において記載しているが、重点プロジェクトでは記載がないた
--	--

め、頂いた御意見を踏まえて検討したい。

《資料5 重点施策（素案）：子育て・教育政策》

【議員】

重点施策「1-4児童・生徒の健全な心身の育成」の方針2に基づく事業「学校給食充実事業」に学校給食費の無償化についての記載があるが、これは方針2「食育の充実」の内容とつながっていないのではないか。また、学校給食費の「段階的」な無償化とは、どのような意味か。

➤ 【教育部長】

方針2と給食費無償化のつながりについては、検討させていただきたい。

中学生の給食費無償化については、方針を決定しているが、それ以外の部分については未定であるため、段階的という表現で記載している。

《資料5 重点施策（素案）：健康・福祉政策》

【議員】

・重点施策「2-1健康づくりと疾病予防の推進」の成果指標「がんの75歳未満年齢調整死亡率」について、受診率に変更してはどうか。がんの特化した指標になっているが、生活習慣病の指標の検討が必要ではないか。

➤ 【健康推進部副部長】

成果指標「がんの75歳未満年齢調整死亡率」の変更について、検討させていただきたい。また、生活習慣病についての指標の設定は難しいところもあるが、検討させていただきたい。

【議員】

重点施策「2-3社会保険制度の健全な運営」には、介護認定率を指標として設定するべきではないか。

また、協議体や居場所づくりについても方針として取り上げるべきではないか。

重点施策「2-6高齢者の生き生きとした暮らしの推進」の方針3の成果指標「認知症高齢者見守りボランティア（オレンジSUN）登録者数」について、インパクトの面からも、サポーター養成講座の受講者数に変更し、1万人、2万人といった目標値を掲げてはどうか。

➤ 【長寿社会部長】

	介護認定率に関する指標は、重点プロジェクトのプロジェクト指標として、「介護を必要としない高齢者の割合」という形で設定している。これは、100%から介護認定率を引いたものである。また、協議体などの取組については、重点施策「2-6高齢者の生き生きとした暮らしの推進」に位置付けて取り組んでいく。 【議員】 重点施策「2-4スポーツを楽しむ環境づくりの推進」に、成果指標としてスポーツ実施率を加えてはどうか。 ➤ 【健康推進部副部長】 スポーツ実施率については、把握していないため、設定することは難しい。 【議員】 重点施策「2-2地域医療体制の充実」に訪問診療についての記載が必要ではないか。 ➤ 【健康推進部副部長】 訪問診療、在宅医療については明記していないが、県や玉村町、佐波医師会などと連携して対応していきたい。 【議員】 重点施策「2-7障害者への支援の充実」では、福祉作業所の数やそこに通う方の人数を把握して、外に出られる、つながれる場を作っていくことの記載が必要ではないか。 ➤ 【福祉こども部長】 福祉作業所やグループホームの数については市で把握している。明記はしていないが、福祉作業所やそこに通う方々への支援や連携により、就労につなげていくような流れを強化していきたい。 【議員】 重点施策「2-2地域医療体制の充実」の成果指標「休日夜間急患センターの開設日数」及び「災害医療活動訓練の実施」について、現状値と目標値が変わらないのは、説明が必要ではないか。 ➤ 【経営企画部長】 成果指標「休日夜間急患センターの開設日数」については、一次救急をしっかりと行っていくために設定したもの。
--	--

	「災害医療活動訓練の実施」については、今まで共同訓練ができていなかった経緯があり、それを継続していきたいという考えで設定したもの。 目標として分かりにくい部分もあると思うので、検討させていただきたい。 ➤ 【健康推進部副部長】 休日夜間急患センターは医師会病院に設置していただいているが、開業医の方に当番制で対応いただいております、大変な面があるものの、委託ということもあり経緯については記載していない。 ➤ 【議員】 休日夜間急患センターの開設日数よりも、利用者数の方がいいのではないかと。また、休日夜間急患センターは医師会病院に設置しているのか。 ➤ 【健康推進部副部長】 休日夜間急患センターは医師会病院に委託をしている。実態として高齢化などにより医師が不足しており、開業医の方にお越しいただいている。 ➤ 【病院事業管理者】 小児医療の提供体制については、前橋市等と圏域を越えた協力体制ができつつある。中等症の患者は市民病院で、軽症の患者は小規模の医療機関で対応するなどしていきたい。 《資料5 重点施策（素案）：産業・観光・文化政策》 【議員】 重点施策「3-1商工業の振興と安心して働ける環境づくりの推進」の施策の展開方針の「方針2 労働者の雇用環境の向上と再教育やスキルアップの支援」に関して、本市では、外国人就労者に関する問題は無視できないと思う。 ここに記載がないように思うが、他に記載があるようであれば教えていただきたい。 ➤ 【産業経済部長】 方針2の中に「全ての労働者」という表現があり、その中に外国人就労者も含めたものとして記載している。 また、重点プロジェクトの「産業活性化プロジェクト」の「労働環境の向上と雇用確保の支援」において、「女性や外国人、障害者を含む全ての労働者」と記載している。
--	--

	《資料5 重点施策（素案）：まちづくり政策》 質疑なし 《資料5 重点施策（素案）：安心安全政策》 質疑なし 《資料5 重点施策（素案）：環境政策》 質疑なし 《資料5 重点施策（素案）：共生・協働・行財政政策～ 成果指標一覧》 【議員】 小さい行政区では、地域の祭りが実施できなかったり、 育成会等が成り立たない状況になってきている。行政区の 見直しについて重点施策「7-3協働まちづくりと地域活動 の推進」の施策の展開方針の「方針1 地域コミュニティの 充実」の中に位置付けて取り組んでいただきたい。 ➤ 【総務部長】 行政区の再編については、市が主導で実施するものでな く、地域住民の方が主体となって進めるべきものであると 考えている。 《資料6 人口ビジョン骨子（案）》 質疑なし ○閉会 下城副市長
--	---